



ケアマネジャーのお仕事サポート

テーマ

「適切なケアマネジメント手法」を実践するために

疾患別ケア 脳血管疾患Ⅰ期について③

アセスメントから課題分析する課題分析標準項目(23項目)は、必須ですね。

昨年3月号から、一部改正された課題分析標準項目(令和5年10月16日に通知された介護保険最新情報 Vol.1178とVol.1179)と、適切なケアマネジメント手法「基本ケア項目」との関連を、一緒に考えてきました。改めて「ケアマネ通信」を遡って閲覧していただければと思います。

引き続き、**適切なケアマネジメント手法 疾患別ケア:「脳血管疾患Ⅰ期」について**を、一緒に考えます。



適切なケアマネジメント手法 疾患別ケア:脳血管疾患Ⅰ期

株式会社日本総合研究所 令和6年12月版



課題分析標準項目から、適切なケアマネジメント手法「基本ケア」、さらに「疾患別ケア」へとつなげていく手順については、先月号でご確認ください。

疾患別ケア:「脳血管疾患Ⅰ期」項目一覧22項目すべて重要です。

今回はその中から、**再発予防のために重要となる項目**、想定される支援内容**7・8・9の「水分摂取」**について一緒に考えましょう。

相談すべき専門職

- ・医師
- ・看護師
- ・歯科衛生士
- ・介護職
- ・歯科医師
- ・薬剤師
- ・管理栄養士



相談すべき専門職とともに
アセスメント・モニタリング
しましょう。

再発予防のための「水分摂取の支援」、想定される支援内容**7・8・9**について解説していきます。

7

必要水分量と日常の摂取量が
把握できる体制を整える

必要十分な水分量を摂取しないと、
脳血管疾患の再発リスクが上昇します。
必要な水分量と日常の摂取量を把握して、
水分を補給することが重要です。

8

適切な水分を摂取することの
理解をうながす体制を整える

本人・家族等に対して、
水分摂取の重要性を伝え、
理解を得ることが必要です。

9

自ら水分を摂取できるように
する体制を整える

本人が自ら必要な水分を摂取できるよう、
本人の状態や生活環境を踏まえた
体制を整えることが重要です。



**再発させないために水分が重要であることを
多職種で本人・家族に繰り返し説明することが重要です！**

関係者が計量カップを用いて、〇〇mlと数値で管理することが重要です。

1日に必要な水分量(70歳以上の場合)

体重1kgあたり30ml ▶ 例) 体重50kgであれば1500ml必要

水分130mlを吸収するのに30分かかります。一気に水分を大量に摂っても
効率が悪いため、「ちょびちょび」飲む必要があることを説明しましょう。
その時の道具として「ストロー」が役に立ちます。



目に見えるように管理

一日の必要摂取量が1500mlであれば、500mlの
ペットボトルを3本冷蔵庫に入れて飲みきることを
促すなど、みんなで工夫をして管理していきましょう。



本人・家族、そして多職種で情報を共有しながら、
その方が無理なく続けられる水分摂取の方法を、
みんなで工夫していきましょう。

(参考)

適切なケアマネジメント手法 基本ケア



執筆者

木村 隆次 きむらりゅうじ

薬剤師

介護支援専門員指導者一期生

一般社団法人 日本介護支援専門員協会名誉会長

医療・介護連携協働をライフワークに活動中。大学卒業後、製薬会社のMRとして勤務した後、青森市内で薬局を開局。薬剤師として居宅訪問をしていた際、福祉用具と住宅改修に興味をもち没頭。介護支援専門員指導者の一期生。2000年4月から13年間日本薬剤師会常務理事、2010年から2022年まで青森県薬剤師会会長を務めた。2005年11月から日本介護支援専門員協会会長(初代)として厚生労働大臣の諮問機関で介護報酬や介護保険制度を議論する分科会・部会の委員を歴任。現在は、日本介護支援専門員協会名誉会長として自立支援型ケアマネジメントの普及のため後進へ情報発信し育成に努めている。